

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム（南部地域）第1回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年7月26日（火） 14時00分～16時00分

場 所：滋賀県南部合同庁舎4階4A会議室

出席者：綾井 考子 委員（草津栗東交通安全協会 副会長）

井上 和典 委員（栗東市 建設部部長）

岩崎 裕史 委員（公募委員）

打田 敏之 委員（草津市 建設部部長）

大黒 栄一 委員（公募委員）

小川 圭一 委員（座長）（立命館大学理工学部環境都市工学科 教授）

奥田 晃 委員（草津警察署 交通第一課課長）

奥田 康博 委員（（公財）滋賀県身体障害者福祉協会 常務理事）

川瀬 正 委員（守山市 都市経済部部長）

田中 ひろ子委員（守山野洲交通安全協会会長、滋賀県商工会議所女性会連合会副会長）

中井 拓 委員（守山警察署 交通課課長）

平川 千波 委員（滋賀県トラック女子部会 会長）

三上 忠宏 委員（野洲市 都市建設部部長）

山本 勇造 委員（公募委員）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 委員紹介

3. 地域ワーキング設置要領の確認、座長選出

4. 地域ワーキング

（1）地域ワーキングの位置づけと進め方について

- ・事務局より地域ワーキングの位置づけと進め方について説明を行った。

（2）資料説明「第1回地域ワーキング」

- ・事務局より第1回地域ワーキングについて説明を行った。

（3）意見等 自由討議

○各委員からの主な意見等については以下のとおりである。

【災害対策について】

- ・看板に土砂崩れ注意とあっても、崩れてきたときにどうすれば良いかわからない。
- ・災害で道路環境が整っていないときは、特に通学路の場合、学校関係者に速報をしていただきたい。
- ・災害時の重要物流道路や緊急輸送道路のネットワークの構築が重要。
- ・災害用のスペース利用の機能など、用地の確保が必要だと思う。

【交通安全対策について】

- ・歩行者や自転車が安全安心に利用できる歩道整備を進めてもらいたい。
- ・旧中山道、大津能登川長浜線の路面標示は速度規制につながっており、非常に効果があると思う
- ・浜街道はいつまでたっても歩道ができない。病院や診療所が多いので、安心して通れる道路幅を整備してほしい。
- ・小学校は徒歩、中学校は自転車通学なので、小学校と中学校で通学路が重なる範囲はできるだけ歩道の整備をしてもらいたい。歩道整備が難しい場合は、センターラインを消して車道に自転車を走らせるようにして、自転車の安全空間を保ってもらいたい。
- ・高齢化を見据えて安心して歩行できる空間の確保が課題。

【道路整備による地域の活性化について】

- ・道路づくりはまちづくりと一体となって実施するべき。計画的なまちづくりをお願いしたい。
- ・まちの元気を保つためにも道路整備を基盤として土地利用を図っていくことがまちの課題だと思う。
- ・拠点をつなぐネットワークの整備が重要。

【道路ネットワークの整備について】

- ・道路整備により山手幹線の交通が大きく増えるが、その先の滋賀～京都間が弱く、東西を結ぶ道路への交通集中を懸念している。都市計画道路ネットワークの構築が必要と考える。
- ・災害等で国道 477 号が通行できなくなると竜王 I C へのアクセスが弱くなる。野洲市の中に湖岸に誘導する幹線道路がない。

【道路空間の創出について】

- ・歩道整備がまだ遅れている。交通弱者の安全確保に努めてほしい。
- ・ビワイチの湖周道路だけでなく、山間部でも自転車が多くなっている。トンネル内は非常に危険。また歩道走行により、歩行者が危険にさらされている箇所もある。幅員の広い歩道は、歩行者と自転車を分離していただきたい。
- ・守山駅前、雨の日の送迎や事業者の送迎バスが多く、横断歩行者が多くて車両が捌けない。草津駅東口のようなペDESTリアンデッキを設置してもらえるとスムーズになると思う。

- ・バリアフリー、ユニバーサルデザインの観点で道路整備は進んできているが、まだまだ十分ではない。道路整備をする際には、設計段階から障害のある方の当事者の意見を聞いてほしい。
- ・高齢者や身障者が通りやすい道路整備をしてもらいたい。

【交通渋滞対策について】

- ・栗東志那中線の国道1号から荻原地先まで特に朝夕渋滞している。
- ・南北軸に比較すると東西軸の渋滞が変わっていない。また、野洲川の川田大橋の渋滞がひどく、特に夕方の南行きが渋滞している。湖南幹線の4車線の橋梁の開通と、湖南幹線の延伸を早くしていただきたい。
- ・草津市、守山市の中心市街地の混雑解消をできるだけお願いしたい。駅前の渋滞が特にひどい。
- ・県道片岡栗東線のボトルネックの解消として、4車線化を早期実施してほしい。
- ・渋滞が一番の課題になっている。雨の日は特にひどく、路線バスが時間通り着かない。
- ・道路整備で、入り口は広く整備をしてくれているが中間点で整備がされておらず渋滞が発生している。
- ・自転車走行が多く、渋滞が起こっている。広い道が作られていく中で、その間の道も広くしてほしい。
- ・草津市内では依然として渋滞が発生しており、交差点改良などによる渋滞緩和対策の推進が今後も必要である。
- ・南北軸は強化されてきているが、国道を起点にした東西軸が弱く、渋滞を引き起こしている。横断する道路について広くするなど、強化が必要。
- ・レインボーロードにバスの停車帯がなく、渋滞が発生している。
- ・守山市・野洲市で渋滞が多い。雨の日は特に渋滞が起こっている。警察としても可能な限り、信号機の秒数を調整するなどの試行錯誤をしているが、交通量が多すぎて変わらない。
- ・日常生活で交差点や信号での渋滞を感じている。県・市で整備を進めているが、道路ができればまた車が増えて追いつかなくなっている。
- ・守山市で渋滞する箇所がある。右折ラインがあれば解消されると思う。
- ・幹線道路の渋滞がここ数年ひどくなっている。山手幹線が完成したときに、どこが渋滞するのか、どこを対策するのかを課題にしてほしい。山手幹線から国道1号に抜ける道が少ない、細いと思う。

【道路等の維持・管理について】

- ・高架の老朽化もあってか、信号待ちで大型車が横を通過すると車が揺れる。住民からも怖いという声がある。点検をしてもらいたい。
- ・案内標示が消えている箇所（手原駅の表示）がある。
- ・歩道が凸凹で自転車やベビーカー、車いすの通行が厳しい箇所がある。

【その他について】

- ・自転車走行空間の矢羽根とブルーライン標示について、路面表示の意味を広く啓発してもらいたい。
- ・幅員が狭い箇所では右側部分はみ出し通行禁止区間において自転車を追い越すとトラックはセンターラインを越えて対向車にはみ出してしまう。ビワイチを推進する上でも 30~40 km/h で走る自転車を追い越す際にはどうすれば良いのか整理しておかないとトラブルが起これると思う。
- ・土木事務所の管轄が変わるところでのネットワークを今後いかに図っていくかということも課題の一つとなっている。
- ・生活する側の環境も人の動きも変わっているので、地元側からも施設整備について声をあげていく必要がある。